

柏ビレジ自治会便り

2023
3月号

柏ビレジ・ニュース

2023年3月25日
柏ビレジ自治会発行
自治会事務局（自治会館）
TEL 04-7132-1925
FAX 04-7132-1965

柏ビレジ自治会ホームページ <https://kashiwa-village.com/>



1年間を振り返って

会長 シュピンドラー 千恵子

今年度も引き続きコロナ禍の中、大人数での会議を控えながら、少しずつ慣れてきたオンライン会議等を取り入れながら、自治会運営を実施して参りました。

3年間のコロナ禍において最初は大変でしたが、今はニューノーマルが定着し不自由を感じなくなりました。この期間がなかったとしたら、毎年同じイベントやルーチンに今も明け暮れているだろうと思うと、この期間中にIT化や業務改善が進んだことは、禍転じて成し得た産物と言えます。

さて、今年度もあっという間に1年の結びを迎えようとしています。

私の中の今期の目玉は、何と言っても10月に開催された「初めての」柏ビレジ・オクトーバーフェストです。新役員の顔合わせから5か月足らず、ゼロから始めた新しいイベントづくりはとても大変でした。役員それぞれの生活や仕事の合間を縫って集まることも容易ではなく、リモートでの打ち合わせ、業者選びから設営、音響、会場整備、出展者とりまとめ、記念品製作、来賓調整等全てが「初めて」で、どうなるかとひやひやしたのですが、事業部、未来まちづくり部をはじめとする役員、ボランティアの方々のお力添えで、成し遂げることが出来ました。本当に有難うございました。近隣の町からのお子様連れのご家族も多くお見受けし、潜在的な可能性を感じ、まだビレジは活性できると確信した次第です。

防災用の電源確保の為に新たに購入した2機のポータブル電源を使って電源を供給し、東電から電源をとることなく電気代を大きく節約できました。また、参加者皆様が明かりを持参して下さりエコロジーな夜となりました。地産地消で柏の地ビールを楽しむ、新しいスポーツやDJショーを楽しむ、みんなで輪踊りをする、このような担当部長さんたちの新しく面白い若い発想を取り入れました。

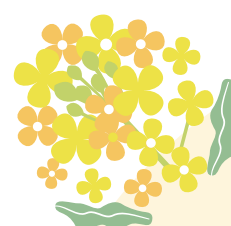


盛況を博した
柏ビレジ・オクトーバーフェスト

今期事業計画の「持続可能なイベントの推進」として「初めて」のイベントに挑戦させて頂きましたこと、心より感謝致します。苦勞して得たノウハウは来期以降に繋げ、子供から高齢者まで、ビレジから地域の皆様まで、皆が楽しめるビレジのブランドにしたいと思ひます。価値を上げ、若い世代の流入を推進し、持続可能なまちづくりの一助となることを期待します。

最期に、かねてより煩雑だった自治会費の納入方法の改善として、あらゆる金融機関からの口座振替サービスを導入しました。皆様にとってより便利になれば幸いです。

今年度も新しいことにご一緒に挑戦しご協力下さいました役員の皆様、会員の皆様のご理解ご協力で深く感謝申し上げます。



柏ビレジ老年学講座の 1年間を通して

副会長 森田 幸次

今年度、ほくほくセンター、医療創生大学の支援を頂き、全7回の講座を3月18日(土)に終了しました。

この講座は、「人生最期まで住み慣れた「我が家」で暮らしたい」をかなえるために、ソーシャルキャピタルが高い柏ビレジに最適と思ひ、介護サービスの充実だけでなく、様々な勉強会を行って参りました。回を追うごとに熱心な質問ならびに住み続けたいという熱い意見が飛び交って参りました。

「定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス」をこの地に導入すべく、第8期いきいきプラン21のパブリックコメントで、自治会、新樹会、ビレジサポート、はなみずきとアイビーラボの5者連名で、要望を出しました。

この原稿締切りには、結果は出ていませんが、今回外れたとしても、第9期いきいきプラン21(2024年4月～2027年3月)に導入を目指します。

来年度は、この老年学講座を柏市の計画に基づき、北部1圏域に拡げ、また内容も拡充して、開催したいと思ひています。引き続き、柏市、ほくほくセンター、医療創生大学、医療機関と介護事業者でスクラムを組んで、「柏市に住み続ける」をテーマに開催したいと思ひています。



山本敏子センター長、質問しやすい雰囲気。



医療創生大学 高田 大輔先生

より住みたくなる街へ

未来まちづくり部 横堀 正枝

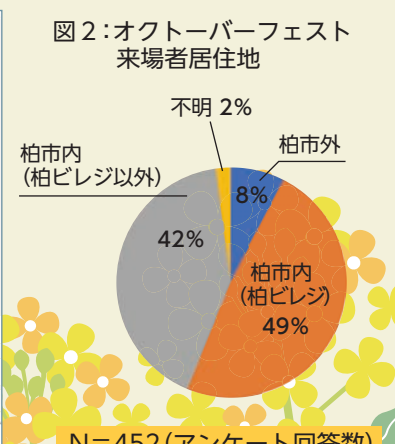
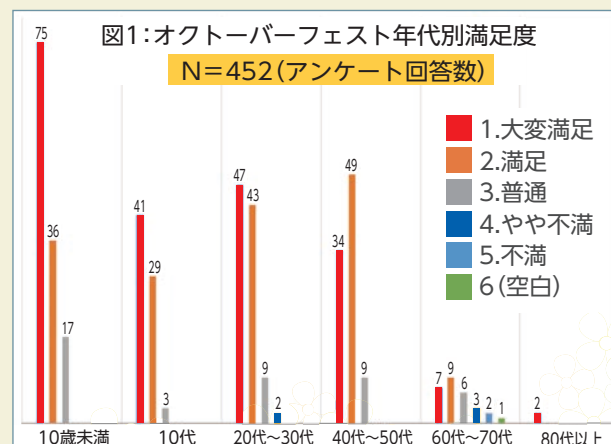
未来まちづくり部は、柏市が制定した都市再生整備計画を基盤に活動を進めて参りました。「柏ビレジランドデザイン」の実現には、内包する問題解決のための施策が求められると同時に、「人々が積極的に住みたくなる街」へ変革を遂げるための未来志向的な取り組みも大切と考えています。その一環であるオクトーバーフェストは、若い世代にも魅力を再発見してもらおうと、「初めての柏ビレジ」をテーマとして事業部と共に新形式で開催し、多数のご来場をいただきました。アンケート結果の一部(図1、2)ですが、およそ9割の方に「大変満足」または「満足」とのお答えをいただき、柏市に拠点を置くキッチンカー、地ビール、疾風太鼓や踊りなどをお楽しみいただいたとのコメントが多く寄せられました。一方で、回答者の多くは10代～50代以下であり、この点については今後の課題として検討を重ねて参ります。

オクトーバーフェストの動画はこちらからご覧いただけます。
(自治会ホームページにも掲載)

<https://youtu.be/eU-Nki9Dvcw>



また、11月には交通不便の解消に向けたコミュニティバス導入に際し実証実験を行いました。その後のアンケート調査結果を受けて、本格運行に向けた大幅な見直しを予定しています。コミュニティバス導入を検討している背景には、免許証を返納したくとも、日々の生活のために自家用車を手放せない方々が少なからずいらっしゃる現状があります。また、公共交通機関の衰退→地域コミュニティの衰退→地域の活力の減退という負のループを生じさせないために、更なる工夫と対策を検討いたします。今後とも皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



建築緑地協定部

荒柴 順夫

2月12・19・26日(各日曜)の午前・午後に、地区計画移行提案の説明会を計6回開催しました。延べ137名(含、ウェブ参加14名)の住民の皆さんが出席され、多くの貴重なご意見をいただきました。紙面を借りて御礼申し上げます。今回の説明会は、自治会が目指す「世代の垣根を超えた優しいまちづくり」のテーマに基づき、ビレジを次世代に亘り住み続けることができるように、多様性と機能性を兼ね備えたまちにするために、建築・緑地の両協定に代わる新たな制度「地区計画」を導入したいという趣旨で開催しました。

説明会は建築協定委員会と共催するのが筋ではないのか、との厳しいご指摘もいただきましたが、地区計画の範囲はビレジ全域とすること、建築協定未加入者がビレジ内に約100軒存在し建築協定は会員以外にはその効力が及ばないこと等を

地区計画移行提案説明会を開催しました

考慮し、未来まちづくりの視点から自治会として提案させていただいたことをご理解ください。

紙面の制約もあり、提案内容の詳細を記載できませんが、主眼は、建築協定によって規制されている「建物の用途」を緩和して、ビレジ内で(店舗・オフィス・下宿・お稽古教室等の)兼用住宅や、医療・介護・子育て施設等の建築を可能にすることにあります。そのうえで、ビレジの持つ景観・街並を相応に維持するために敷地面積等は建築協定の規制を今後とも継続する方針です。

今回の説明会でのご意見や2021年に実施した建築・緑地協定アンケートの回答に基づく住民意識を参考にして、地区計画原案を作成のうえ、4月に移行提案の賛否を問うアンケートを実施しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

一柏フレイル予防プロジェクト 2025 認定されるー

市が推進するフレイル予防を継続的に活動している団体として、新樹会、はなみずき、IVY-LABO(運営:ビレジサポート)が、柏フレイル予防プロジェクト2025推進委員会から認定されました。はなみずきとIVY-LABOは協働の「通いの場」としての認定です。各団体の活動を紹介します。かしわフレイル予防ポイントとは、市が指定する健康づくりやボランティアに参加することでポイントが貯まり、健康でいきいきとした市民の生活を応援する制度です。

新樹会



●2021年6月から制度の普及に努め、会員172名ほぼ全員がフレイル予防ポイントカードを保持し、17のサークル活動・行事等に参加することでポイントを獲得しております。2月に福祉政策課が太極拳サークルを視察、認定書が授与され、柏市最大のシニアクラブであると同時に、最高レベルのクラブである事が証明されました。ポイント対象のサークル等も増え、より一層、フレイル予防活動に参加する会員の増加が見込まれます。皆様の新樹会への入会をお待ちしております。

はなみずき



●地域の皆さんの繋がり場として、柏ビレジ商店街の一コマを使って週5日・1日5時間開いています。誰でも、気楽にご利用できるように、明るい雰囲気と、比較的安い価格で、喫茶と軽食を提供しています。ご利用いただくと、フレイル予防ポイント20ポイントが付きます。語り合いの場としても、また、一息ゆっくりしたいとき、ぜひ一杯のコーヒーでお過ごしいただければと思います。最上の時が過ぎせると思います。

IVY-LABO



●今年度は、月4回の健康体操(ほんいでん健康体操、ロコモ予防体操)に加え、「紅茶教室」「不動産セミナー(終活シリーズ)」「デジカメ教室」「フレイルチェック」「野鳥探索会」等、年間50回を超える活動を実施し、多くの皆様に参加して頂きました。来年度も新しいプログラムを企画し「通いの場」通信でお知らせしてまいりますので、ご期待下さい。各プログラムはフレイル予防ポイントが付きます。

事務局

口座振替サービスについて

村松 貴子

本年度、新たにリコーリース(株)口座振替サービスの利用を追加しました。これにより約100の金融機関より自治会費の納入が可能となりました。

今回利用を追加したリコーリース(株)口座振替サービスは**希望者の方のみ対象**です。三菱UFJ銀行の口座引落を引き続き利用される方は、特に変更手続の必要はありません。

1月末までに変更のお申込みをされた方は、4月4日分より振替開始しております。万が一振替不能の場合、事務局より記載内容や印鑑の確認のお伺いをさせていただきます。お手数をおかけしますが、スムーズな振替手続のためご協力をお願いします。

今まで事務局窓口で自治会費をお支払いされていた方や他行からお振込みいただいていた皆さまにも便利にご利用いただけます。勿論三菱UFJ銀行からの切り替えも可能です。

ご変更の申込は引き続き承っておりますので、事務局窓口までお気軽にお問い合わせ・お申し込みください。

第42回 柏ビレジ自治会定時総会のご案内

第42回柏ビレジ自治会定時総会を以下の日程で開催いたします。詳しくは総会資料をご確認ください。

- 日時 令和5年5月21日(日)
 - 13:00 受付開始
 - 13:30-15:00 ビレジ自治会総会
 - 15:00-16:30 建築協定委員会総会
 - 16:30-17:30 緑地委員会報告会
- 場所 花野井小学校体育館

- 上履きが必要ですので、スリッパなど各自ご持参ください。
- 当日、風邪症状など体調に不安がある場合には出席をご遠慮ください。
- 会場内でのマスク着用・手指消毒等、感染対策のご協力をお願いします。
- コロナウイルス感染予防対策のため、収容人数に制限があります。また、コロナ禍の状況により書面表決に変更する場合は別途お知らせいたします。

防犯部

浮田 隆之
有田 礼子

令和4年度防犯部の振り返り

令和4年度の活動もあとわずかととなりました。今年度は夏・冬の夜間防犯パトロールを中止とし今後の活動として「柏市エンジョイパトロール」への参加を案内させていただきました。期前半には「電話de詐欺」「押し売り・押し買い」「侵入盗被害」「車損傷被害」が多発したため、回覧・LINE・掲示などで注意喚起を行ないましたが、日頃のパトロールが益々重要かと考えさせられました。また、柏市街頭防犯カメラ設置補助事業で今年度も2台新設、来年度用に2台申請しました。防犯カメラには次の効果があると考えられます。

犯罪行為を抑止できる:防犯カメラがあることで犯罪を思いとどらせ、計画的な犯罪を防ぎ犯罪率が低下したというデータが出ているようです。カメラの設置は多ければ多いほど、犯罪抑止効果も高いようです。

犯罪が起きたときに証拠を残せる:防犯カメラを設置していても犯罪が起きてしまうこともあります。その際もカメラを設置していれば犯行の様子を証拠映像として残せ、警察に提出すれば捜査に役立てられます。

このように今後も計画的に市の補助制度(2台まで)を利用して設置していくのが良いかと考えます。2025年度には1号機・2号機が設置後7年となり更新時期となります。その際に更新するのか、更新せずに他の場所に新設するのかを2023~2024年度に判断することになります。1年間、皆様にはご協力いただきありがとうございました。



防災部

村田 真弓
西中間 多加子

防災この一年

3つの観点から防災活動に取り組みました。1つ目は地域に係わるもので、柏市などが主催する講座に参加し、柏ビレジ自治会の立場から積極的な発言を行いました。また利根川上流河川事務所の要請を受け、堤防工事に関するリーフレットを各戸配布しました。

次は継続性が求められる維持管理業務です。防災井戸の週一回の逆洗、年一回の水質検査をはじめ備蓄物資、倉庫内の防災機材の洗い直しなどをしました。

3つ目は素人集団でありかつ高齢化しつつある自治会に実行可能で実効性のある防災の模索です。災害時に自治会館に本部を立ち上げ役員等が駆けつけるという従来型ではなく、LINEなどを活用した連絡網の整備を試行中です。また昨今ひととき重要性を増している電源確保では、複数台所有していた発電機がすでに古くまた慣れない者の操作に危険が伴うと判断されたので、ポータブル電源に買い替えました。音や臭いの問題がなく、防災に限らず様々な場面で使うことができます。アウトバーフェストや子ども部クリスマス会でさっそく役立ててもらいました。

何時発生するかわからない災害に備え、実行可能な防災体制を一步一步整えていくのが防災部の任務なのではないかと思っています。

子ども部

岡田 小央里

お礼

本年度は、夏祭りの他、別途企画していたミニ縁日をコロナの感染拡大の為に断念しましたが、ラジオ体操とクリスマス会は実施が叶いました。お子さんを引率または、送り出して下さった保護者の皆様、本当に有難うございました。子供達の笑顔で疲れも吹き飛びました!

2名体制での実施は、参加者の安全とスムーズな運営が確保出来ないため、どうしても何を実施するにも、活動をサポートして下さる方が必要でした。多忙な朝の時間帯に、ラジオ体操をサポートして下さった田中小学校の役員の方、人手不足を予見して近隣公園までお手伝いに来て下さった「はなみずき」の方、行き帰りの子供の見守りに...と、体操に参列して下さった住民の方々、本当に有難うございました。またクリスマス会でも、多くのボランティアの方にサポートして頂き、会を実施する事が出来ました。サポーターの方無しには実施は不可能でした。最後に、コロナ禍の急なキャンセルを快諾して下さい、逆に実施の際にははきめ細やかにご対応下さったビレジサポートのご担当者へ、心から御礼申し上げます。

